

受益者の皆様へ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社ファンド10月10日基準価額の下落について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 20 年 10 月 10 日、一部弊社ファンドの基準価額が前日比 5%超下落しました。以下に、ファンド状況と基準価額の下落要因のご報告をいたします。

(1) 基準価額前日比 5%超下落ファンド名とその状況 (平成 20 年 10 月 10 日現在)

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率 (%)
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-3	4,109	-672	-14.06%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-1-65	4,353	-694	-13.75%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-08	4,420	-699	-13.66%
条件付元本確保型収益分配ファンド2006-9	4,834	-751	-13.45%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-105	5,002	-760	-13.19%
三井住友・株価指数参照ファンド'06-09	4,791	-722	-13.10%
三井住友・株価参照型ファンド2008-8	6,801	-975	-12.54%
インカム追求型株式投信0706	4,628	-659	-12.46%
インカム追求型株式投信0709	5,080	-719	-12.40%
インカム追求型株式投信0707	4,714	-662	-12.31%
インカム追求型株式投信0604	4,829	-678	-12.31%
インカム追求型株式投信0705	4,731	-664	-12.31%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06-09	4,607	-645	-12.28%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-05	6,321	-851	-11.87%
三井住友・株価参照型ファンド2008-5	6,810	-904	-11.72%
三井住友・株価参照ファンド2007-12	5,764	-765	-11.72%
三井住友・ス・パ・アクティブ・オ・ブ・ン	1,903	-248	-11.53%
条件付元本確保型収益分配F(ステップアップ型)2007-2	4,764	-569	-10.67%
三井住友・株価参照ファンド2008-03	6,946	-829	-10.66%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-03	7,013	-833	-10.62%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-09	7,149	-806	-10.13%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のおとずれ	4,364	-481	-9.93%
三井住友・株価指数参照ファンド'07-08	4,827	-532	-9.93%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-7-65	4,352	-479	-9.92%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-100	4,971	-545	-9.88%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'06-12	4,763	-521	-9.86%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-7-55	4,303	-470	-9.85%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-春のひだまり	4,390	-479	-9.84%
条件付元本確保型収益分配ファンド2007-6	4,456	-485	-9.82%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-02	4,680	-506	-9.76%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-12	4,546	-491	-9.75%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-7-110	4,902	-526	-9.69%
ちば興銀株価指数参照ファンド2006-11-115/110	4,791	-511	-9.64%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-105	4,952	-510	-9.34%

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

ファンド名	基準価額(円)	前日比(円)	下落率(%)
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-100	5,145	-515	-9.10%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-06	4,551	-454	-9.07%
三井住友・インカム確保型株価参照ファンド07-06	4,895	-480	-8.93%
三井住友・株価指数参照ファンド2008-08	7,181	-693	-8.80%
三井住友・げんきシニアライフ・オープン	4,687	-452	-8.80%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-6	5,395	-501	-8.50%
三井住友・条件付インカム確保型ファンド'07-10	5,770	-527	-8.37%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-10-110	5,404	-492	-8.34%
ちば興銀株価指数参照ファンド2007-4-三色すみれ	5,410	-479	-8.13%
条件付元本確保型ステップアップ収益分配ファンド2007-3	5,557	-480	-7.95%
メイプル ジャパンオープン	3,004	-254	-7.80%
三井住友・バリュー株式年金ファンド	6,890	-565	-7.58%
三井住友・日本株Newバリューオープン	5,998	-489	-7.54%
日本生活成長株式ファンド	7,584	-610	-7.44%
三井住友・日本株式年金ファンド	4,540	-359	-7.33%
三井住友・DC国内株式アクティブS	7,199	-568	-7.31%
コスモ「新時代」日本株ファンド	4,524	-356	-7.30%
リサーチ&トレンド・オープン	3,407	-267	-7.27%
21世紀ファンド	3,596	-281	-7.25%
三井住友・アクティブ・オープン	2,989	-230	-7.15%
三井住友・フォーカス・ジャパン・オープン	4,812	-351	-6.80%
システム リバランス オープン	4,743	-343	-6.74%
ちば興銀株価指数参照ファンド2008-9	7,710	-532	-6.45%
ウツミ屋 日本株ファンド「あゆみ」	5,082	-350	-6.44%
三井住友・NEO(ネオ)ファンド	2,837	-192	-6.34%
スーパー店頭株兆(きざし)ポートフォリオ	5,288	-356	-6.31%
三井住友・株式アナライザー・オープン	3,850	-259	-6.30%
シナプス	3,108	-209	-6.30%
三井住友・ハイ・シェアーズ・オープン	4,973	-333	-6.28%
三井住友・日本株グロース・オープン	2,220	-148	-6.25%
三井住友・日本株オープン	5,472	-361	-6.19%
三井住友・日本株・競争力ファンド	4,144	-264	-5.99%
三井住友・グローバル株式年金ファンドBコース為替ヘッジなし	5,840	-367	-5.91%
三井住友・日本株・成長力ファンド	4,322	-267	-5.82%
三井住友・ライフビュー・日本株式ファンド	5,289	-318	-5.67%
三井住友・ダブル・バリュー・ファンド	4,973	-272	-5.19%
メイブルドリーム50オープン	5,135	-274	-5.07%
三井住友・DC外国株式アクティブ	8,271	-437	-5.02%
三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)	7,523	-397	-5.01%

10月10日の基準価額は、外国の株式・債券・リート等に投資するファンドの場合は、10月9日時点の株式等組入れ資産の各市場での終値を、10月10日の為替レート(日本時間午前10時頃の為替レート(TTM))で円換算し算出しております

(2) 基準価額の変動要因について

【海外株式市場】

10月9日の米国株式は、NYダウ、S&P500ともに7%以上の大幅下落となりました。

10月3日に米国で金融安定化法が成立し、10月8日には欧米中央銀行が協調利下げを行い、英国政府は大手金融機関への公的資金による一斉資本注入を決定し、欧米中央銀行は短期金融市場

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。

へ断続的に資金供給を行うなど、金融市場の安定化に向けた政策対応が協調して行われています。しかし、こうした政策対応にもかかわらず、ドル建て3ヶ月物のロンドン銀行間取引金利(LIBOR)の上昇は止まらず金融市場の混乱は収まる兆しが見えません。

金融機能の劣化により世界経済が一段と下ぶれする懸念が高まっていますが、経営危機を回避するために欧米金融機関が資産を圧縮する動き、パフォーマンス悪化により資金が流出しているヘッジファンド等のポジション解消の動きから、世界的にリスク資産に対する売り圧力が止まらないことが株式市場の暴落の直接的な要因と見られます。

昨年夏以降、サブプライムローン問題は世界的に金融機関を経営危機に陥れ、大規模な信用不安と流動性不安につながっています。その結果、金融市場の価格形成機能は大きく毀損し、証券化商品から社債市場へさらには株式市場にもその影響が及び下落幅を拡大させているものと考えられます。

10月9日の欧州株式市場は米国株式市場が急落する前に取引を終えたため、下落率は小幅なものに留まっていますが、10日は米国株式市場の急落の影響を受けて大幅に下落して始まることが予想されます。

【国内株式市場】

10月10日の国内株式市場は、9日米国株式市場の大幅下落の影響を受けて、日経平均では9%以上、TOPIXでは7%以上の下落となり、2003年の安値に迫っています。

下落の背景は米国株式市場で記した通りですが、世界的なリスク回避の動きの中で為替市場はドル円で一時97円台まで円高に振れ、円高が企業業績の更なる下ぶれにつながる懸念もあり、下落幅を大きなものにして見られます。

(3) 今後の見通し

【海外株式市場】

米国での金融安定化法成立、欧米中央銀行による協調利下げと短期金融市場への資金供給、欧米各国での預金保護の動き、欧州での経営不安に陥った金融機関への公的支援といった政策対応がなされているにもかかわらず、金融不安が鎮静化する目処は依然不透明であり、金融機関の機能低下がもたらす実体経済への悪影響から世界経済が下ぶれリスクも高まっています。また世界的なリスク資産圧縮に伴う売り圧力が続く可能性もあり、欧米株式市場はしばらく下値不安を拭えない状況にあると考えられます。

今後も米国での金融機関への公的資金による資本注入の動きや追加の景気刺激策が検討されている動きもあり、日米欧の政策当局が協調して金融市場の安定化に向けた政策対応を続ける見通

しから、政策に対する評価を巡って当面株式市場は価格変動の大きい不安定な動きを示すものと見られます。

また、政策対応が奏功し、金融不安が緩和し短期金融市場の機能が改善した場合は、株式市場は反発に転じると見込みますが、世界経済の下ぶれによる企業業績に対する懸念から株式市場の上値は限られると見ます。

【国内株式市場】

これまでの大幅下落により、移動平均からの下方乖離率などテクニカルな面から見ると歴史的な売られ過ぎの状況にあり、東証一部のPBRでみたバリュエーションは2003年の安値の水準を下回り割安な水準にあると言えます。

しかしながら、海外株式市場の見通しで記したように、金融不安が鎮静化する目処が不透明なこと、世界経済の下ぶれリスク、更には金融市場のリスク回避的な動きによる売り圧力が収まらないことや円高の進行による業績の一段の悪化懸念から下値不安は拭えない状況にあると考えられます。

今後は海外株式と同様に、引き続き日米欧の政策当局が協調して金融市場の安定化に向けた政策対応を続ける見通しから、政策に対する評価を巡って当面株式市場は価格変動の大きい不安定な動きを示すものと見られます。

また、政策対応が奏功し、金融不安が緩和し短期金融市場の機能が改善した場合は、株式市場は反発に転じると見込みますが、世界経済の下ぶれによる企業業績に対する懸念から株式市場の上値は限られると見ます。

以上

各国・地域の株式・為替市場動向

(株式)

国・地域	株式指数	終値	騰落率
日本	TOPIX	840.86	-7.10%
	日経平均株価	8,276.43	-9.62%
アメリカ	SP500指数	909.92	-7.62%
	NYダウ30種平均	8,579.19	-7.33%
	NASDAQ総合指数	1,645.12	-5.47%
イギリス	FT100指数	4,313.80	-1.21%
ドイツ	DAX指数	4,887.00	-2.53%
香港	ハンセン指数	15,943.24	3.31%
タイ	SET指数	499.99	1.55%
マレーシア	KL総合指数	968.89	-0.13%
シンガポール	FTSE ST指数	2,102.71	3.40%
ベトナム	VN指数	397.68	-0.91%
フィリピン	フィリピン総合指数	2,288.44	-0.84%
オーストラリア	全普通株指数	4,291.30	-1.80%
ニュージーランド	全普通株指数	762.62	-0.02%

終値: 日本: 10月10日 海外: 10月9日 騰落率日本: 10月9日比 海外: 10月8日比
(出所) Bloombergなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(為替) *数値は対円レートを示しております

通貨	TTM (2008年10月10日)	騰落率 (2008年10月9日比)
アメリカドル	99.12	-0.9%
イギリス ポンド	168.84	-1.8%
ユーロ	134.34	-1.1%
香港ドル	12.76	-0.9%
タイ バーツ	2.88	-0.7%
マレーシア リンギット	28.21	-1.1%
シンガポールドル	67.12	-1.3%
インドネシア ルピア	0.0104	-1.0%
ベトナム ドン	0.006	0.0%
フィリピン ペソ	2.08	-1.0%
インドルピー	2.11	-0.9%
オーストラリアドル	66.24	-0.8%
ニュージーランドドル	59.2	-0.4%

(出所) 社団法人投資信託協会のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。(社)投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。この資料に基づいて取られた投資行動の結果については、弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご承知ください。この資料の内容・コメントは、作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等が出来ないことがありますので、目論見書の記載にご注意ください。この資料は、弊社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者許諾者に帰属します。この資料に市場環境、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは本ファンドの資料作成時点若しくはそれ以前に属するものであり、将来の状況・成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、又は分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更される事があります。